



千草っ子だより

千葉市立千草台小学校

学校だより 2月号

(家庭数配付)



今に至るまでの努力を忘れずに

校長 村元 孝憲

2月4日は立春。少しづつ日が長くなり、春の息吹を感じられる季節となりました。冬の間、厳しい寒さに耐え忍んできた木々も、芽出しの兆しが見え始めました。今年度も残り2か月。本校の児童も次の学年に向け、準備をしっかりと行い、積み残しのないようにこれまでを振り返りながら、自分にできることを精一杯がんばってほしいと思います。

「初心忘るべからず」という言葉、誰もが耳にしたことがあると思います。これは一般的には「物事を始めたときの新鮮で謙虚な気持ちや志を忘れてはならない」という意味でよく使われています。この語源は室町時代に「能」を大成させた能楽者、世阿弥が著した「花鏡(かきょう)」に出てくる言葉です。世阿弥が意図するところはもっと深いところにあり、「初心」とは、初心者の初心を指しており、「何かを始めたときの下手だった自分や、未熟だった時期から今に至るまでの努力を忘れてはならない」と説いています。

学校生活において、新たに学ぶ学習や運動、友達との関係の中で自分自身を振り返り、その時々で自分を磨いていく姿勢や、物事に勇気をもって挑戦していく心構えこそが、「初心忘るべからず」の意味になるでしょう。

1月21日に本校で球技大会が行われました。都賀小学校、千草台東小学校とともに、どの試合も選手一人一人が輝く好ゲームでした。サッカーは1位、バスケットボールは3位という結果でした。男子も女子も仲間と協力し合って、最後の笛が鳴るまで全力でボールを追いかける姿が見られました。振り返れば練習開始が11月26日。途中冬休みを挟みましたが、この期間寒さに負けず休み時間にも練習を重ねてきた6年生。パス、センタリング、シュート、ドリブル、リバウンド…始めの頃はうまくいかない姿を指導者とともに見てきました。試合を終え、スポーツをする喜びを味わうとともに仲間との絆を深め、中学校生活に生かしてほしいと思います。「初心忘るべからず」で。

さて、2月は1年で最も日数の短い月となります。今年度最後の学習参観・懇談会、6年生を送る会などの行事や予定があります。学校も1年間の学習のまとめや評価を行いながら来年度に向けて準備を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2・3月の予定

月	火	水	木	金	土
2/2	3 新入生入学説明会 校内書初め展	4 SC 学力検査(3・5年) たてわり活動	5 学力検査(全学年)	6 学習参観・懇談会	7
9 委員会活動(5,6年)	10	11 建国記念の日	12	13	14
16 クラブ活動 (4,5,6年 今年度最終)	17	18 SC 大空タイム	19 6年生を送る会 リハーサル (1~5年保護者参観可)	20 6年生を送る会 (6年保護者参観可) 学校評議員会	21
23 天皇誕生日	24 短縮日課	25 SC 短縮日課	26 短縮日課	27 短縮日課	28
3/2 短縮日課	3	4 SC たてわり活動 (お別れ会リハーサル)	5 長縄大会	6	7
9 長縄大会予備日 委員会活動(5,6年 今年度最終)	10	11 SC たてわり活動(お別れ会)	12 年度末表彰式 大掃除	13	14
16 卒業式予行練習	17 SC	18 お別れ式 (1,2,3,6年)○時下校 卒業式前日準備 (4,5年)○時下校	19 卒業証書授与式 ○時下校(1,2,3年) ○時下校(4,5,6年)	20 春分の日	21
23 短縮日課	24 短縮日課 修了式、離任式	25 学年末休業～3/31	26	27	28
					4/1～4/7 学年始め休業

※「SC」はスクールカウンセラーの来校日です(8:30～12:30)。予約を希望される場合は、事前に教頭か担任までご連絡ください。

学校の様子

<球技大会壮行会> 1/16 (金)

5年生の運営委員会を中止に、球技大会の壮行会を行いました。運営委員は、全校児童に応援の気持ちを持たせ、その思いを6年生に届けるような心温まる会を運営しました。6年生は、練習の姿を披露し、キャプテンが試合に臨む意気込みと、これまで準備に携わったすべての人へ感謝の意を述べ、全校児童の応援を背に球技大会を頑張ることを誓いました。

<6年 球技大会> 1/21 (水)

お知らせ・お願い

○ユニホームの新調

創立60周年事業の一環として、球技大会用のサッカーのユニホームを新調していただきました。子どもたちへお披露目をした際には、「すげー!」「格好いい!」などと喜びの声や歓声が上がりました。2年前にはバスケットボールのユニホームも新調していただきました。子どもたちは新しいユニホームを着て、皆様に感謝の気持ちをもって、精一杯試合に臨みました。ちぐさの会をはじめ、保護者の皆様、ありがとうございました。

